

## 今年度2回目の「保育参観」を実施！

～製作などいろいろな活動を通し、成長した姿をご覧くださいことができました～

1月27日(土)に、今年度2回目の保育参観を行いました。今回の保育参観も諸ウィルス感染拡大防止を考慮して学年毎に行いました。

最初は年中組さんからです。年中組さんはなわとび大会やなわとびカードクリアに向けて毎日、なわとびを練習しています。そんな年中組さんの頑張りをお父さんお母さんにみてもらいました。

なわとびのあとは、「つくってあそぼう」、親子でたこをつくって園庭でたこあげをしました。まず、たこに好きな絵をクレヨンで描きます。年中組さんは親子で相談しながら楽しく上手に描いているようでした。絵を描いたたこに糸を通して個性豊かなたこの完成です。そのたこを持ってみんなでたこあげです。たこは見事に青空に上がり、笑顔で走り回る子どもたちは本当に楽しそうでした。



年少組さんは「製作」でお父さんお母さんが乗った客車をつくり、作品袋に貼り付け作品袋を完成させました。最初に丸画用紙に大好きなお父さんお母さんの顔を描きます。そして画用紙を客車や窓の形にハサミで切りとります。作品袋には列車が描かれていて、そこに連結するようにお父さんお母さんの顔や客車、車輪を貼り付けていきます。子どもたちの上手にハサミやノリを使って製作を楽しむ成長した姿がみられました。





年長組さんも年中組さんと同じくなわとびをみてもらいました。なわとび大会で去年よりもいっぱいなわとびを跳ぼうと一生懸命練習している年長組さんです。

お部屋に入り、「製作」で手型をつくりました。ねんどをこねて広げてお父さんお母さんの手型をとります。子どもたちは自分の手よりずっと大きいお父さんお母さんの手の型をとれるように何度もねんどをこねて広げていました。手型がとれたら、ねんどの縁をビーズで飾り付けします。親子でいろいろ話し合いながら見栄えするようにビーズを配置していました。後日、保護者の手形の上に絵の具で色を付けた子どもたちの手形を押す予定です。



進級・進学まであと2ヶ月いろいろな面で意欲と自信をつけている子ども達です。今年度も残り少なくなりましたが、更に大きく成長してくれる事を期待しています。